

埼玉農産物・商談会シート



本シートは、農林水産省が行うフード・コミュニケーション・プロジェクトが作成したシートを参考に作成しました。

商品特性と取引条件

商品名	鴻巣市のプリムラ類					
最もおいしい時期	11月～4月	出荷可能時期・期間	10月～3月			
産地	鴻巣市	品種の特徴	開花期が長く、寒さに強い			
内容量	1ケースから	希望小売価格(税込)	商品毎に違います			
1ケースあたり入数	24ポット程度	保存温度帯	常温			
発注から納品までの日数	1週間程度	販売エリアの制限	●無 ○有→			
最低ケース納品単位	1ケースから	ケースサイズ(重量)	縦(寸)×	横(寸)×	高さ(寸)	重量(kg)
			38.5	53.0	10.0	
認証・認定機関の許認可(商品・工場等)	<input type="checkbox"/> 有機JAS <input type="checkbox"/> ISO <input type="checkbox"/> HACCP <input type="checkbox"/> 農業生産工程管理(GAP) <input type="checkbox"/> その他→					

ターゲット	売 り 先	<input checked="" type="checkbox"/> フードサービス <input checked="" type="checkbox"/> 商社・卸売 <input type="checkbox"/> メーカー <input checked="" type="checkbox"/> 小売 <input checked="" type="checkbox"/> ホテル・宴会・レジャー <input checked="" type="checkbox"/> その他(右に記入→) 公園管理やレジャー施設の花壇など
	お 客 様 (性別・年齢層など)	一般のご家庭から公園の植栽管理者まで、幅広い方々に。
利用シーン (利用方法・おすすめレシピ等)	プリムラの種類はととても多く、また花色も白・黄・赤・紫・青など様々です。寒さに強く、冬の寂し気な景色を彩ってくれるため、花壇や鉢への寄せ植えがオススメです。また種類や色によって様々な花言葉を持つプリムラは贈り物にもぴったりの花です。	
商品特徴	生産の歴史も長く、高い生産知識と経験を有しています。	

商品写真



■ 産地紹介

産地名	鴻巣市花組合		
生産量・作付面積		生産者数	会員数 72名
代表者氏名	組合長 須永 健司		
メッセージ	<p>プリムラ類はとても種類が多く性質も様々ですが、鴻巣市ではプリムラ類の出荷量が日本一になるなど盛んに生産されています。園芸店でよく見かけるジュリアン、ポリアンサ、マラコイデス、オブコニカも市内で多く生産されています。ぜひご活用ください。</p>		
ホームページ			
事務所所在地	〒 365-8601	埼玉県鴻巣市中央1-1 鴻巣市役所・農政課内	
ほ場所在地	鴻巣市、日光戦場ヶ原、軽井沢		
担当者	武井 勝彦	E-mail	nosei@city.kounosu.saitama.jp
T E L	048-541-1321 (内線3137)	F A X	048-577-8462

■ 生産工程・アピールポイント




■高冷地育苗(山上げ栽培)

高冷地育苗とは、夏季の高温を回避するために高冷地で育苗する栽培方法で、鴻巣市では古くから行われています。

山間地の昼夜の寒暖の差が花の生育に非常に良く、高品質な鉢花・花壇苗の早期出荷が可能となります。

しかし、「山上げ栽培」は多大なコストと労力を必要とすることから、低コストで「山上げ栽培」と同等の効果が期待できる平地早だし栽培技術による生産を行っています。

標高1,400mの日光戦場ヶ原での高冷地育苗(7月上旬頃～10月頃)

写真





■ 品質管理情報

品質保持への取組(冷蔵庫等)	輸送中の水切れに細心の注意を払い、荷袋に合わせて適正に出荷します。			
商品検査の有無	●無 ○有→具体的に	組合として統一的な実施はしていない。個々の生産者による。		
衛生管理への取組	製造工程の管理	生育段階に応じて適切な施肥管理を行い、高品質な商品の生産に努めています。		
	従業員の管理	当組合では、毎年研修会を開催し、情報を共有することで品質や技術の向上を図っています。		
	施設設備と管理	施設による適正な栽培管理で、花色が鮮やかな商品を生産しています。		
危機管理体制	担当者連絡先	担当者	須永 健司	連絡先 090-1818-9604
	記録	栽培記録を保存しています。		